

PAT-NO: JP02001286589A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001286589 A

TITLE: GOLF TEE

PUBN-DATE: October 16, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOKUHARA, EISUKE	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOKUHARA EISUKE	N/A

APPL-NO: JP2000105303

APPL-DATE: April 6, 2000

INT-CL (IPC): A63B057/00

ABSTRACT:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a golf tee capable of reducing resistance against an impact to easily increase the flying distance and improve the directivity of a ball and to reduce loss and breakage of the golf tee.

**SOLUTION:** A pedestal part 11 for placing a golf ball and an insert part 12 inserted in the ground to support the pedestal part are flexibly connected by a connecting member 13. For example, a cavity part 11a extending in the same direction as the insert part is formed in the pedestal part, and the connecting member is extended in the direction of the cavity part and freely movable forward and backward in rotation to the cavity part. A locking part 11d for locking the connecting member is disposed in the cavity part. The connecting member is e.g., a reinforced soft rubber pipe body extending in the direction of the cavity part, and the pedestal part is made of reinforced soft rubber. The insert part is made of reinforce hard plastic. The connecting member may be provided with a groove extending in its extending direction. A recessed surface having the same curved surface as the spherical surface of the golf ball is formed on the pedestal part.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-286589

(P2001-286589A)

(43) 公開日 平成13年10月16日 (2001. 10. 16)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 6 3 B 57/00

識別記号

F I

A 6 3 B 57/00

テマコード (参考)

C

D

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-105303(P2000-105303)

(22) 出願日 平成12年4月6日 (2000. 4. 6)

(71) 出願人 599126833

徳原 栄輔

東京都中野区東中野 5-17-20

(72) 発明者 徳原 栄輔

東京都中野区東中野 5-17-20

(74) 代理人 100095267

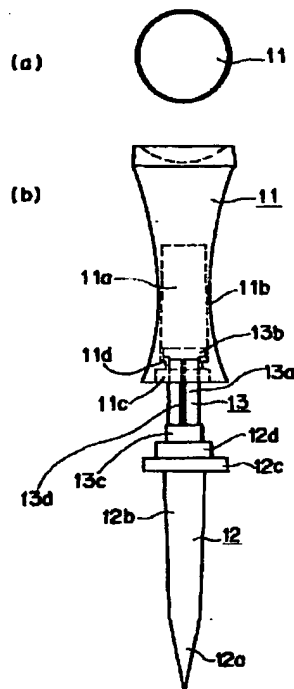
弁理士 小島 高城郎 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 ゴルフティー

(57) 【要約】

【課題】 ゴルフティーにおいて、インパクトの抵抗が少なくして、容易に飛距離を伸ばすことができるとともにボールの方向性を良好する。さらに、ゴルフティーの紛失及び破損を少なくする。

【解決手段】 ゴルフボールが乗せられる台座部 11 と地中に差し込まれ台座部を支持する差し込み部 12 とを連結部材 13 でフレキシブルに連結する。例えば、台座部には差し込み部と同一方向に延びる空洞部 11a が形成されており、連結部材は空洞部方向に延び空洞部に対して進退自在となっている。そして、空洞部には連結部材を係止する係止部 11d が配設されている。連結部材は、例えば、空洞部方向に延びる強化軟質ゴムパイプ体であり、台座部は強化軟質ゴム製である。また、差し込み部は強化硬質プラスチック製である。なお、連結部材にはその延在方向に延びる溝を形成するようにしてもよい。また、台座部にはゴルフボールの球面と同様の曲面を有する凹部が形成されている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ゴルフを行う際に用いられるゴルフティーであって、ゴルフボールが乗せられる台座部と、地中に差し込まれ前記台座部を支持する差し込み部と、前記台座部と前記差し込み部とをフレキシブルに連結する連結部材とを有することを特徴とするゴルフティー。

【請求項2】 請求項1に記載されたゴルフティーにおいて、前記台座部には前記ゴルフボールの球面と同様の曲面を有する凹部が形成されていることを特徴とするゴルフティー。

【請求項3】 請求項1又は2に記載されたゴルフティーにおいて、前記連結部材は可撓性部材であることを特徴とするゴルフティー。

【請求項4】 請求項3に記載されたゴルフティーにおいて、前記台座部には前記差し込み部と同一方向に延びる空洞部が形成されており、前記連結部材は前記空洞部方向に延び前記空洞部に対して進退自在となっており、前記空洞部には前記連結部材を係止する係止部が配設されていることを特徴とするゴルフティー。

【請求項5】 請求項4に記載されたゴルフティーにおいて、前記連結部材は前記空洞部方向に延びる強化軟質ゴムパイプ体であることを特徴とするゴルフティー。

【請求項6】 請求項1乃至5のいずれかに記載されたゴルフティーにおいて、前記台座部は強化軟質ゴム製であることを特徴とするゴルフティー。

【請求項7】 請求項1乃至6のいずれかに記載されたゴルフティーにおいて、前記差し込み部は強化硬質プラスチック製であることを特徴とするゴルフティー。

【請求項8】 請求項3又は5に記載されたゴルフティーにおいて、前記連結部材にはその延在方向に延びる溝が形成されていることを特徴とするゴルフティー。

【請求項9】 請求項1に記載されたゴルフティーにおいて、前記差し込み部の側壁に複数の突起部を有することを特徴とするゴルフティー

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ゴルフに用いられるティー（tee：球座）に関し、特に、ゴルフティーの構造に関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般に、ゴルフプレーを行う際には、まず、ティーショットを行うが、この際、ゴルフボールをゴルフティーに乗せて、ティーショットを行っている。従来のゴルフティーは、ゴルフボールを載置する載置台部（台座部）と、この載置台部に連続して、下方に延びる差し込み部を備えており、ティーショットを行う際には、載置台部にゴルフボールを乗せつつ、差し込み部を地面に差し込んで、ゴルフボールが所望の高さとなるようにした後、例えば、ドライバーを用いてゴルフボールの下側を強打する。つまり、ドライバーによって、載置

台部とゴルフボールとの境目付近を強打することになる。このようにして、ティーショットを行うと、必然的にゴルフティーもドライバー等で強打されることになる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】前述のように、ドライバー等で強打されると、ゴルフティーが地面から抜けて飛んでいってしまうことが多い。つまり、ゴルフティーが紛失してしまうことが多い。

10 【0004】さらに、従来のゴルフティーは、その材質が木又はプラスチック製のものが多く、ティーショットの際には、ドライバー等によって、ゴルフティーが強打されると、ゴルフティーが破損してしまうことも多い。

【0005】加えて、従来のゴルフティーは、木又はプラスチック等によって一体的に形成されている関係上、柔軟性に乏しく、ティーショットの際、インパクトの抵抗が大きく飛距離が伸びず、さらには、ゴルフボールの方向性が良好でないという問題点もある。

20 【0006】本発明の目的は、紛失及び破損することの少ないゴルフティーを提供することにある。

【0007】本発明の他の目的は、インパクトの抵抗を少なくして、容易に飛距離を伸ばすことができるとともに方向性を良好にできるゴルフティーを提供することにある。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、ゴルフを行う際に用いられるゴルフティーであって、ゴルフボールが乗せられる台座部と、地中に差し込まれ前記台座部を支持する差し込み部と、前記台座部と前記差し込み部とをフレキシブルに連結する連結部材とを有することを特徴とするゴルフティーが得られる。

30 【0009】そして、前記台座部には前記ゴルフボールの球面と同様の曲面を有する凹部が形成されており、前記連結部材は、例えば、可撓性部材である。

40 【0010】具体的には、前記台座部には前記差し込み部と同一方向に延びる空洞部が形成されており、前記連結部材は前記空洞部方向に延び前記空洞部に対して進退自在となっており、前記空洞部には前記連結部材を係止する係止部が配設されている。例えば、前記連結部材は前記空洞部方向に延びる強化軟質ゴムパイプ体であり、前記差し込み部は強化硬質プラスチック製であり、前記差し込み部の側壁部には、ティーが地中にしっかり固定され、遠方へ飛ばないように複数の突起部が設けられている。そして、前記連結部材にはその延在方向に延びる溝を形成するようにしてもよい。

## 【0011】

【発明の実施の形態】以下本発明について実施の形態に基づいて説明する。

50 【0012】図1を参照して、図示のゴルフティーは、

台座部11及び差し込み部12を備えており、台座部11は、差し込み部12に後述するようにフレキシブルに連結されている。

【0013】台座部11は、例えば、強化軟質ゴム製であり、その中央部が若干くびれた形状をしており、あたかも、二個の円錐台を突き合わせた形状となっている。台座部11の頂上(頂部)は凹面に成形されており、この凹面形状は、例えば、ゴルフボールの球面と同一の曲面である(図1(a)参照)。図1(b)に示すように、台座部11の内部には図中上下方向に延びる空洞部11aが形成されており、空洞部11aには後述する連結部材13が挿入される。

【0014】差し込み部12は、例えば、強化プラスチック製であり、その先端が尖った楔形状をしている。つまり、差し込み部12は、尖塔状の先端部12aとこの先端部12aに連続する円柱部12bとを有しており、円柱部12bの上端には円柱部12bの直径よりもその径が大きいリング状のフランジ部12cが円柱部12bと一体的に形成されている。さらに、フランジ部12c上には取り付け台部12dが一体的に配設されている。そして、この取り付け台部12dには連結部材13が一体的に取り付けられる。また、差し込み部における他の実施例として、尖塔状である地中への差し込み部の側面壁部には複数個、望ましくは2~6個の突起部14を設けることもできる。この突起部は、しっかりと地中に固定することもさることながら、ティーショットの際、該ティーが遠方へ飛び、該ティーが紛失しないように構成されている(図3参照)。

【0015】再び、台座部11に注目して、空洞部11aは第1の空洞11b及び第1の空洞11bに連続する第2の空洞11cを有しており、図中、第1の空洞11bは第2の空洞11cの上側に位置づけられている。第1及び第2の空洞11b及び11cは、例えば、円柱形状又は円盤形状であり、第1の空洞11bの直径は第2の空洞11cの直径よりも小さい。そして、第1の空洞11bと第2の空洞11cとの境界には径方向内側に係止部11dが形成されている。

【0016】連結部材13は、取り付け台部12d上に一体的に固着されている。連結部材13は、円柱状の挿入体であり、この連結部材13は、例えば、強化軟質ゴム製のパイプ体13aを有しており、このパイプ体13aの下端及び上端にはそれぞれ封止体13b及び13cで封止されている。これら封止体13b及び13cは、例えば、強化軟質ゴム製の円盤形状であり、封止体13bの径はパイプ体13aの径よりも僅かに大きい。なお、パイプ体13aの側面に、所定の間隔をおいて、上下方向に延びる複数の溝13dを形成するようにしてもよい。図示の例では、90度の間隔をおいて、合計4本の溝13dが形成される。

【0017】連結部材13を第1の空洞11b内に挿入

する際には、前述のようにして、予め差し込み部12と連結部材とを一体的に取り付けた後、樹脂成形機等を用いて、台座部11を強化プラスチックで樹脂成形する。この樹脂成形の際、パイプ体13a及び封止体13bが第1の空洞11b内に収納されることになる。

【0018】図2(a)及び(b)も参照して、パイプ体13a及び封止体13bが第1の空洞11bに完全に挿入された状態では、取り付け台部12dは第2の空洞11cに収納されることになる(第2の空洞11cの形状と取り付け台部12dとの形状は同一形状となっている)。この時、フランジ部12cが台座部11の下面に当接するから、パイプ体13aは、これ以上パイプ体13aを挿入できなくなる。

【0019】なお、図2(a)に示すように、台座部11の下面の形状とフランジ部12cの形状とは同一となっており、この結果、パイプ体13aが完全に第1の空洞11bに挿入された状態では、フランジ部12cは台座部11に連結しているように見える。

【0020】連結部材13が第1の空洞11bから引き出される場合とは、ティーショットの際である。即ち、ティーショットすると、原則として材料として相応しい強化軟質ゴム製である連結部材13はそのインパクトで飛球方向へ曲がるわけであるが、その際台座部11は、連結部材13の上部方向へ押し上げられ図1(b)の状態となる。封止体13bが係止部11dの位置に達すると、係止部11dによって、封止体13bの通過が阻止され、これ以上連結部材13が引き出せなくなる。この状態が図1(b)に示す状態である。なお、ティーの高さは、図1(b)と図3との比較で理解できるように台座部11を変えた製品、即ちハイロングティー(38mm)、ロングティー(31mm)、ミドルティー(24mm)、ローティー(17mm)の各ティーとすることによって多面的に対応可能である。

【0021】連結部材13は、上述の如く空洞部11aと接触する場合とほとんど摩擦を生じない程度にフリーに進退自在となっている場合があるが、本件発明の基本は、後者である。すなわち、不使用時やティーショット前後の状態は、図2(a)に示す如くである。

【0022】ティーショットを行う際には、台座部11にゴルフボールをおいて、差し込み部12を地中に差し込むようにすればよい。この際、プレーヤに合わせて、つまり、プレーヤが所望する長さの台座部11のティーを選択すればよい。

【0023】前述のように、パイプ体13aは強化軟質ゴム製であるから、横から加わる力に対してフレキシブルに対応することができる。つまり、ドライバー等を用いてティーショットを行った際、台座部11がパイプ体13aで差し込み部12に支持されているから、台座部11に加わった力がパイプ体13aで吸収されて強力なインパクトは直接的に差し込み部12に加わることがな

い。しかも、台座部11もパイプ体13aを軸して振れることになるから、ゴルフティーが飛んでいってしまっ  
て紛失することが少なく、また、破損することも少ない。

【0024】さらに、台座部11がフレキシブルなパイ  
プ体13aで差し込み部12に支持されているから、イン  
パクトの抵抗が少なく、容易に飛距離を伸ばすことが  
できるばかりでなく方向性も良好にすることができる。

【0025】また、台座部11を強化軟質ゴム製とすれ  
ば、台座部11及び連結部材13が2段階にクッション  
の役割をすることになり、よりインパクト時の抵抗を少  
なくすることができる。

【0026】次に、図3を参照して、図示の例では、台  
座部11の長さが図1に示すゴルフティーよりも短い例  
が示されており、このように、台座部11の長さを種々  
変更することも可能であり、身長等に応じて種々のゴル  
フティーを選択するようにすればよい。なお、上述の例  
では、パイプ体13aに縦方向（長さ方向）に伸びる溝  
を形成したが、溝を形成することによって、パイプ体1  
3aのフレキシブル性が増すが、この溝は特に必要なも  
のではなく、パイプ体13aをフレキシブル性を有する  
材料で形成すれば、溝はなくても問題はない。また、差  
し込み部12の円柱部12bには、その側壁部に複数の  
突起部を設けることができる。即ち、突起部を設ける場  
合と設けない場合の二つの態様が存在する。突起部を設  
ける場合は、地中に差し込むことにより引っかかりを生  
じ、ティーが容易に紛失しない。該突起部が図3に示す  
形状となっているのは、差し込み易く、抜けにくい作用  
を持たせるためである。

【0027】また、上述の例では、パイプ体13aとし  
て強化軟質ゴムパイプを用いたが、例えば、軟質プラス  
チック等フレキシブル性を有する材料を用いるようにし

てもよい。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明では、ゴル  
フボールが乗せられる台座部と地中に差し込まれ台座部  
を支持する差し込み部とをフレキシブルに連結するよう  
にしたから、インパクトの抵抗が少なく、容易に飛距離  
を伸ばすことができるばかりでなく方向性も良好にする  
ことができる。さらに、破損及び紛失を少なくすること  
ができるという効果がある。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるゴルフティーの一例を伸長した状  
態で示す図であり、(a)は上方から見た図、(b)は  
一部破断して示す側面図である。

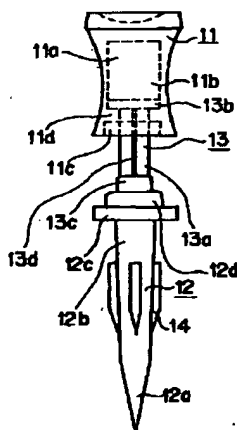
【図2】本発明によるゴルフティーの一例を縮めた状態  
で示す図であり、(a)は一部破断して示す側面図であ  
り、(b)は断面図である。

【図3】本発明によるゴルフティーの他の例を伸長した  
状態で示す図である。

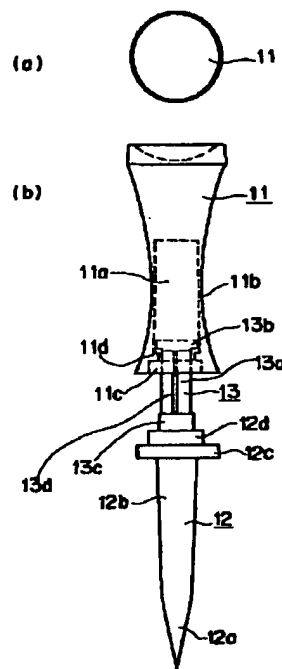
【符号の説明】

- 20 11 台座部  
11a 空洞部  
12 差し込み部  
12a 先端部  
12b 円柱部  
12c フランジ部  
12d 取り付け台部  
13 連結部材  
13a パイプ体  
13b, 13c 封止体  
30 13d 溝  
14 突起部

【図3】



【図1】



【図2】

